

広島県北広島町におけるクロバナヒキオコシの初記録

¹*白川 勝信・²上野 吉雄

¹芸北 高原の自然館・²認定 NPO 法人 西中国山地自然史研究会

First record of *Isodon trichocarpus* in Kitahiroshima-cho, Hiroshima Prefecture

¹* Katsunobu SHIRAKAWA and ²Yoshio UENO

報告

クロバナヒキオコシ *Isodon trichocarpus* (Maxim.) Kudô の自生を新たに確認したので報告する。

クロバナヒキオコシは北海道および本州の日本海側に自生する多年生草本である (畔上 1996)。GBIF に登録されている標本も東日本産が中心であり、中国地方以西では鳥取県、島根県、岡山県および広島県で合計 99 件が登録されている (図 1)。広島県では比婆郡の東城町栃木、高野町高暮、西城町奥二本栃など東部から標本の採集記録があり、「東部の吉備高原面から中国山地に分布し、路傍、草原、林縁などに生育するが稀である」とされる (広島大学デジタルミュージアム 15 January 2023)。北広島町ではこれまでに確認されていなかった (齊藤ほか 2014)。今回、生育を確認し、標本を高原の自然館に保管した。

2022 年 10 月 3 日に北広島町の天然記念物「美和のサクラソウ自生地」を整備していたところ、数個体が密生していることを上野が発見した。生育場所はサクラソウ *Primula sieboldii* を保護するために設けられた柵の外側で、比較的乾燥していた。サクラソウが開花する 5 月上旬には多くの人を訪れる場所であるが、株が小さいためにクロバナヒキオコシの生育は見落とされていたものと思われる。確認された個体は、開花の最盛期と見られた。

引用文献

畔上 能力 (編) (1996) 山溪ハンディ図鑑 2 山に咲く花。株式会社 山と溪谷社, 東京

齊藤 隆登・佐久間 智子・吉野 由紀夫・白川 勝信・上村 恭子・山下 容富子・和田 秀次 (2014) 北広島町の種子植物。北広島町の自然：145-311

広島大学デジタルミュージアム (15 January 2023) クロバナヒキオコシ <https://www.digital-museum.hiroshima-u.ac.jp/~main/index.php/> クロバナヒキオコシ

GBIF.org (15 January 2023) GBIF Occurrence Download <https://doi.org/10.15468/dl.u9zt5a>

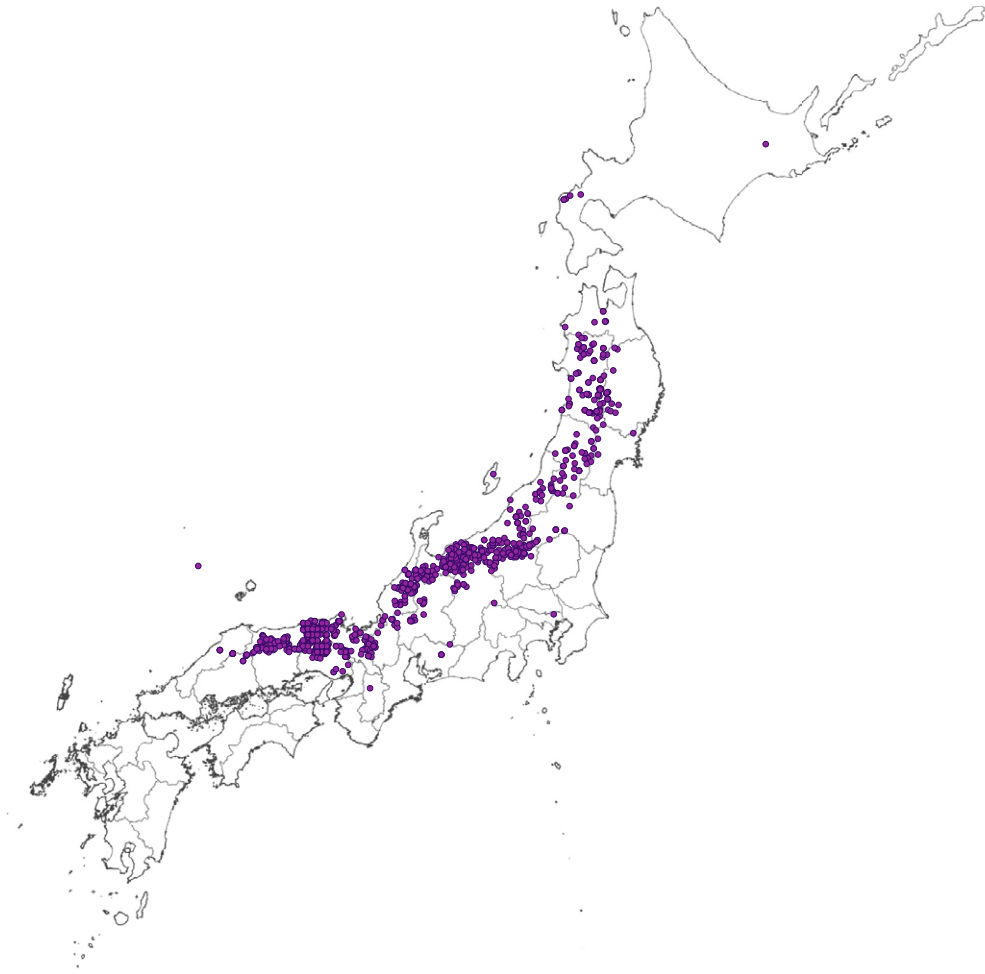


図1 日本国内におけるクロバナヒキオコシの標本採集地 (GBIF.org (15 January 2023) より作成)

図版 1



A : クロバナヒキオコシ (2022年10月6日撮影)

B : クロバナヒキオコシの花 (2022年10月6日撮影)